



ファイナル「花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生 ～ふるさとキラキラフェスティバル～」

桐生市 公園緑地課・群馬県 都市計画課

令和3年4月24日から5月23日まで、桐生市市制施行100周年記念事業の「花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生～ふるさとキラキラフェスティバル～」が、開催されました。『市制施行100周年、あしたの緑をいまつくろう』を大きなテーマに掲げ、人と人、民と公、地域と地域、さまざまなつながりの中で“桐生人”が培ってきた100年のバトンを、次の100年につなぐためのきっかけづくりができました。

今回は、桐生市新川公園をメイン会場とし、遊園地や動物園など、市内各所をたくさんの花で飾り、1か月間、花でいっぱいのまちになりました。

新川公園には、「つむぐ庭」をコンセプトとし、繊維産業のまち桐生を象徴する3本の糸の形をした大規模花壇を設置しました。約18,000本の花が次々と咲いていき、来るたびに違う景色に出会え、特別実施した帯の滝を背景に、花と緑と水のハーモニーで来場者をお迎えしました。

メイン会場では花壇のほかにも、子どもダンスチームの演舞や和太鼓の演奏などのステージ、消防車両の公開や訓練の実演などを実施した消防フェスタなど、さまざまなメニューをお楽しみいただきました。

サテライト会場は飾花のほか、さまざまにコラボレーションしたイベントを開催しました。動物園ではキーパーズトークとクイズラリー、有鄰館では毎年恒例の「有鄰館まつり」とテーマ連携し、市内高等学校の繊維関連学科の生徒による作品展示、遊園地は開園50周年記念事業として昔の写真を公募する「なつかし写真」を共同開催しました。どのイベントも、来て見て楽しみながら、桐生のまちで新しい発見をしていただけるものでした。

また、メイン会場・サテライト会場だけでなく、市内の「イトコ」を隅々までめぐって頂くため、スマホひとつで参加できるモバイルラリーを実施しました。

感染症拡大防止のため、5月4日からは残念ながら一部イベントは中止となりましたが、花壇設置やモバイルラリーは継続実施し、困難な状況下でも来場者・参加者のみなさん一人ひとりが対策を実施し、それぞれに楽しんでいただくというスタイルで花緑観賞、まちあるきを通じた桐生の魅力発信ができました。

ふるさとキラキラフェスティバルは、100周年という節目の年に、あらためて“つながり”を感じ、その大切さに気付けた事業になったと考えております。協力・参加いただいた皆様との、そして皆様同士の新しいつながり、より強固になったつながりが、これからの桐生の礎となっていくことを希っております。



メイン花壇全景

※ 2009年から始まった「花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～」は今回の桐生開催をもって終了しました。



市民参加の花壇づくり



市民参加の花壇づくり



花と緑のコンテスト



学生たちの力強い太鼓演奏



桐生産の花々が会場を彩る



子供たちもうれしいメニュー

